

いまの仕事を好きになってこの会社でがんばる方法

大企業と中小企業とでは経営も営業もやり方が違う。小が大に勝つ原理原則と実務として長く中小企業の戦略づくりに活かされてきた「ランチェスター戦略」の専門家で埼玉県の企業の経営相談の実績も豊富なコンサルタント福永雅文氏が中小企業の経営と営業の戦略を事例も交えて解説していく。



福永 雅文

ランチェスター戦略コンサルタント

問合せ先：info@sengoku.biz

大谷翔平選手の通訳が悪いことをして捕まった。大谷選手の成功に貢献し、日本で知らない人はいない存在だった。仮に通訳の仕事が終わっても大谷選手の話をするだけで一生やっていけるはずだったので損得勘定が全く合わない事件だった。この事件のさなかに「なぜ、大谷選手は自分の銀行口座から多額のお金がなくなっていることに気がつかなかったのか」との報道があった。その時、筆者は世の中にはお金のために仕事をする人と仕事こそが人生だと考える人の二種類の人がいることを改めて感じた。

ライフワークとライスワーク

大谷選手はプロスポーツ選手で世界最高額の契約をしているが、お金のために野球をやっているわけではないと思う。野球が好きで、やるからには世界最高峰のメジャーリーグで優勝したくてやっている。そして自分たちのプレーで人々に夢や感動や元気を与えたいと思ってやっていると思う。お金は正当な評価であり、稼いだお金から納税もされるのだから、稼ぐべきだが、それは結果である。目的ではない。

仕事をする意味は三つある。第一がお金のため

だ。第二がその道を極め一流になる夢を叶えるためだ。そして第三が社会に貢献する志を果たすためだ。夢や志の実現のために働くことは仕事をするために生きるといってもよい。人生と仕事と不可分である。これをライフワークという。

一方、夢も志もない仕事は、お金のためだけに、喰うために働いているだけなのでライスワーク(ライスとはお米のこと)という。社長も新人もすべての働く人はこの二種類に分かれる。ライスワークの人は時間を切り売りしている。働く時間は死んでいるのと変わらない。ライフワークの人は仕事をする時間にやりがいを感じている。生きている実感がある。人生の時間の多くを割く仕事の時間が充実していれば、その人の人生は輝かしい。

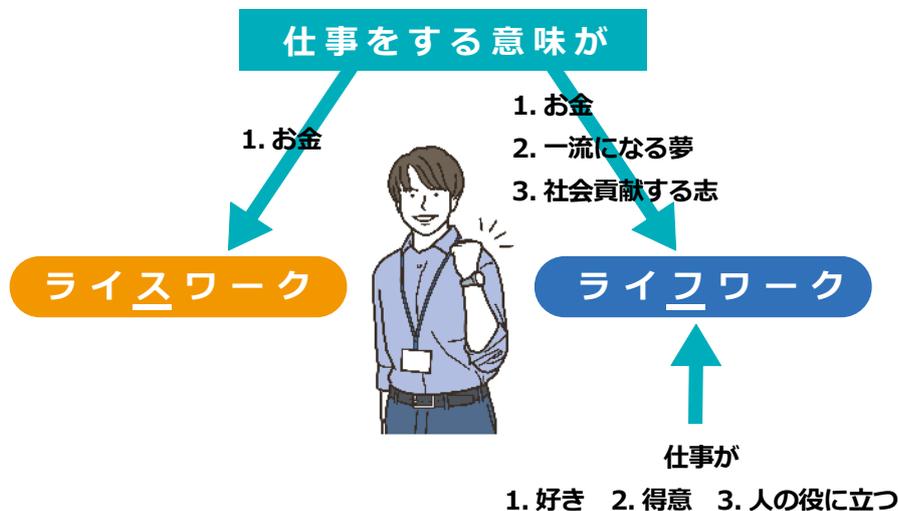
好き×得意×人の役に立つ

では、仕事をライフワークと捉えるか、ライスワークと捉えるか、その境目はどこにあるのか。それは「好きで、得意で、人の役に立つ」仕事をしているかどうかだ。

この三点で最も大切なことは「好き」である。大谷選手のように好きなことを仕事にできればライフワークになりやすい。しかし、現実にはそん



いまの仕事を好きになってこの会社でがんばる方法



な人ばかりではない。読者はいかがだろうか。家業だから好き嫌いではなく継いだ人もいる。読者の会社に勤める人はどうだろうか。たまたま縁あって就職しただけという人も多い。貴社の新人もその可能性が高い。

「好きというわけではなく、いまの仕事に就いた」人のほうが多数派と思う。そんな人には次の三つの考えが渦巻いている。

- ①好きな仕事に転職
- ②好きな仕事なんてないから・または就けないのなら、より条件のよい会社に転職
- ③いまの仕事を好きになってこの会社でがんばる

大企業はそこに勤めることが誇りだし、待遇もよいので簡単には転職しなかった。しかし、近年では大企業でも簡単に転職する人が増えている。中小は人が採れないうえに①②の理由で定着しない。中小企業の社長としては③のいまの仕事を好きになってもらいたいものだ。では、どうするか。

いまの仕事を好きになる

「好きで、得意で、人の役に立つ」ライフワークの3条件に立ち返ろう。得意で人の役に立ち、顧客や上司に認められると仕事を好きになるものだ。

どんな小さなことでもよいから成功体験をさせることだ。まず自分はこの会社に居てよいのだという自己肯定感、安心感を与えることだ。

成功体験すなわち勝ち味は蜜の味。続けて味わいたくなるものだ。努力や創意工夫をするようになる。そうすると続けて成功する。仕事が楽しくなり気がつく仕事が好きになっている。自己重要感、特別感を与えることだ。「勝ち味・勝ち癖の原則」と呼んでいる。

ゲーテも『人生に成功する秘訣は自分が好む仕事をするのではなく、自分のやっている仕事を好きになることである』と云っている。社長には「好き×得意×人の役に立つ」でライフワークとして仕事をする社員を育成していただきたい。

●連載の著者の社長・後継者・幹部向けの本

LANCHESTER STRATEGY
中小企業のコンサル事例でわかる
ランチェスター戦略

圧倒的に勝つ経営
福永雅文 著

日本実業者出版社刊
埼玉県の中小企業の
コンサル事例も紹介されています。

販売価格
1,870円
(税込)